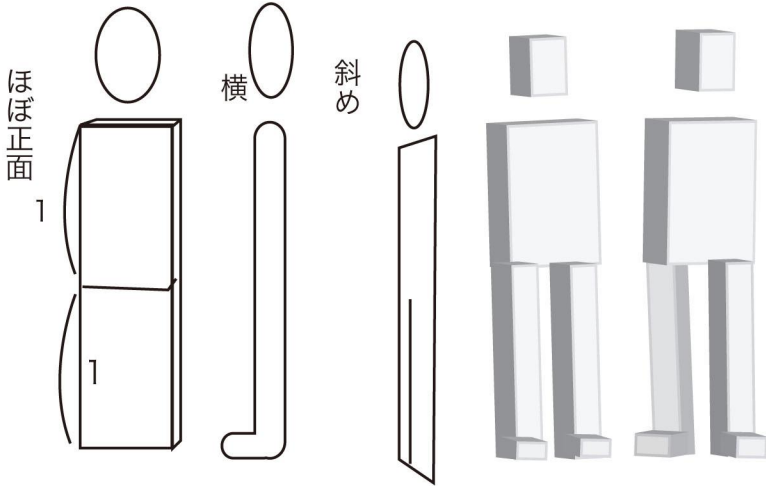


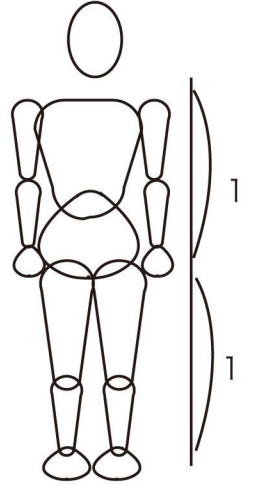
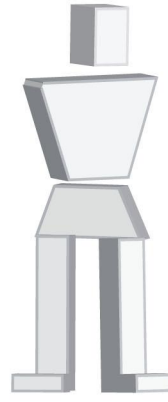
人の体の形の考え方

例1 薄っぺらな板人間

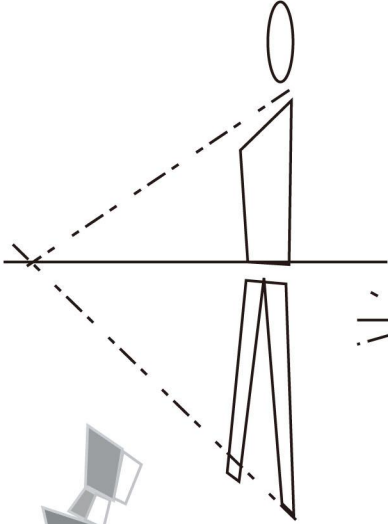


例2 バットとボール? の組み合わせ

こつゆつねじれポーズも多い



ちょっと高度に面で考える



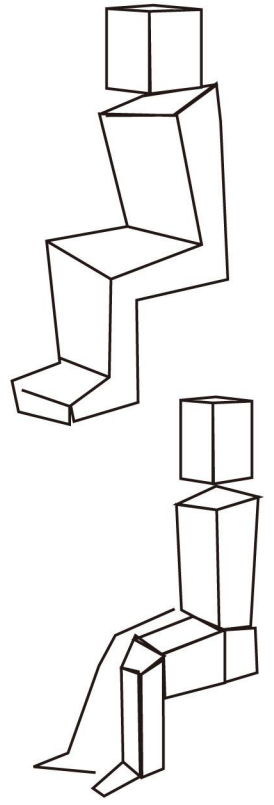
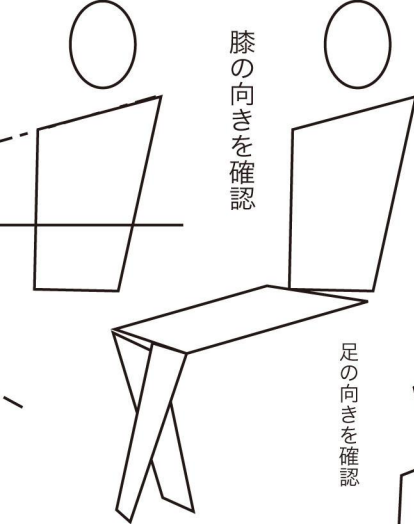
ポーズは折った紙のイメージを一点透視法のようにイメージしてみよう
それに厚みをつけてみよう

胸の向きを描く

自分の目の高さを確認

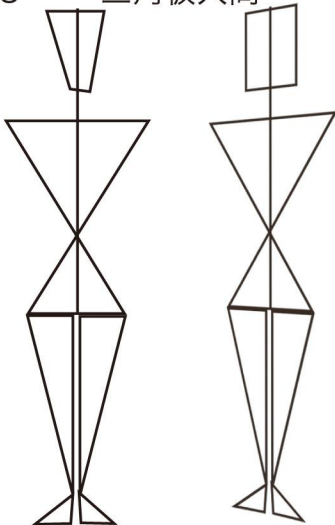
膝の向きを確認

足の向きを確認

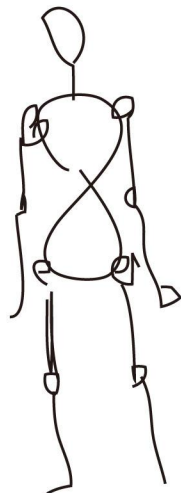


自分で描きやすい方法を考えよう。

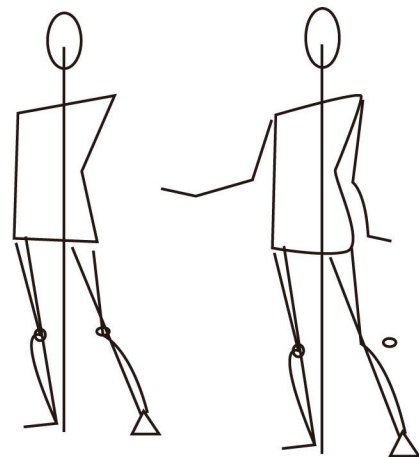
例3 三角板人間



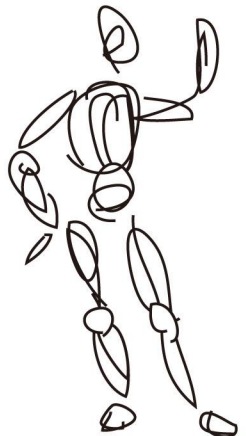
例4 8の字骨人間



例4 進化形B型人間



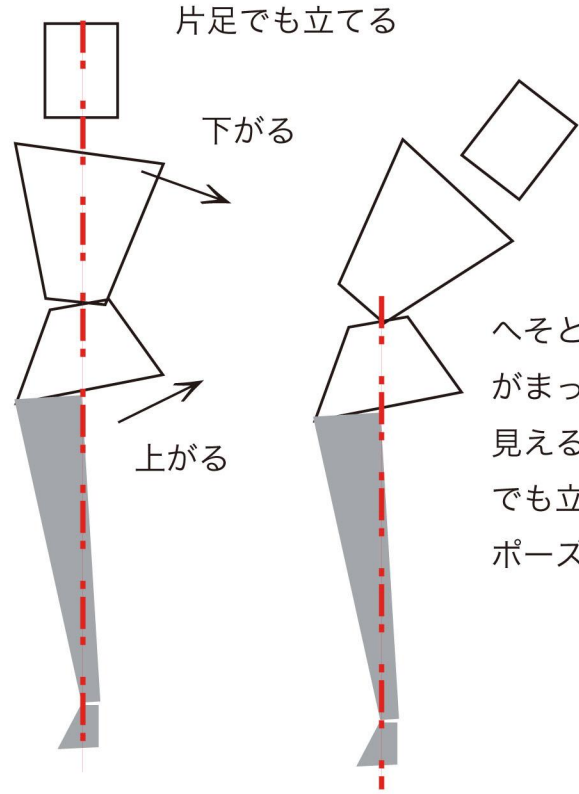
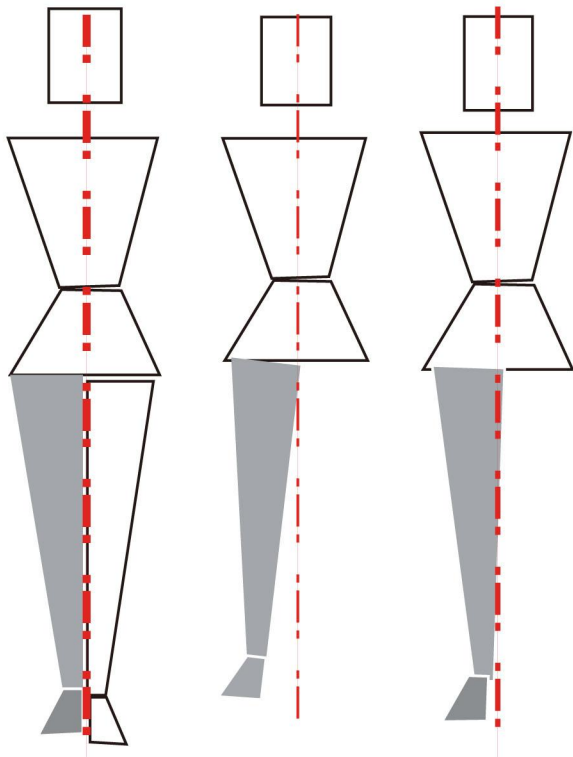
例5 ぐりぐり人間



重心

片足では立てない

年 組 番 氏名



全体の動きの骨組みをおおまかに描いてから複雑な場所から描く

骨組みのつかまえ方 例

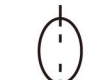
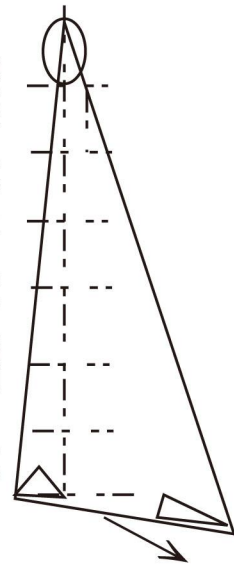


頭のおおよその大きさの丸を描く



垂直線を引く

頭の長さのおおよそ7倍下に頭頂と2つのつま先とを結ぶ3角形を描く

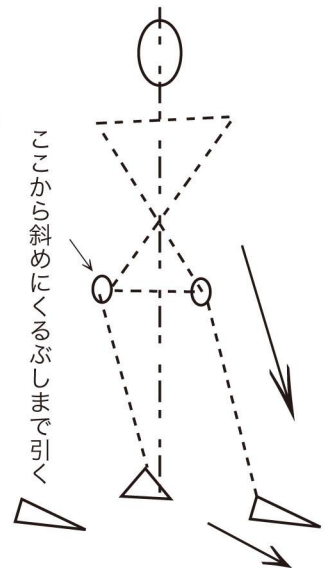


正面向きは短い三角形
横向きは長い3角形

胸部と腹部を三角形で描く



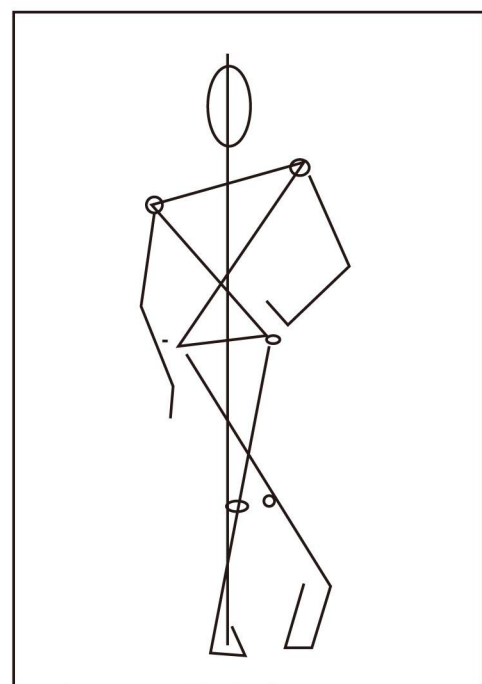
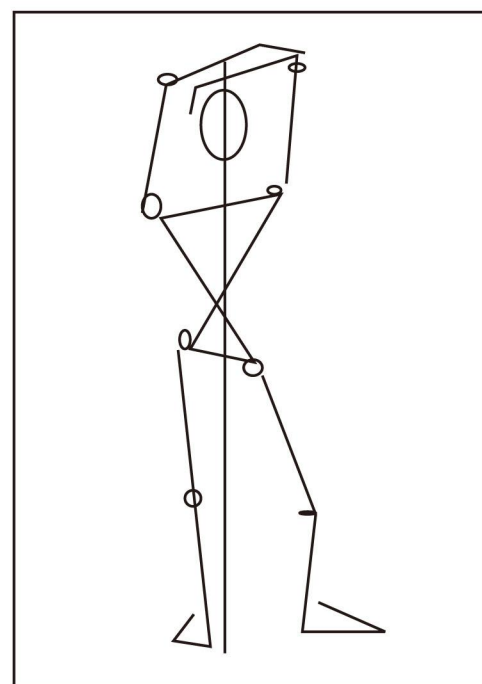
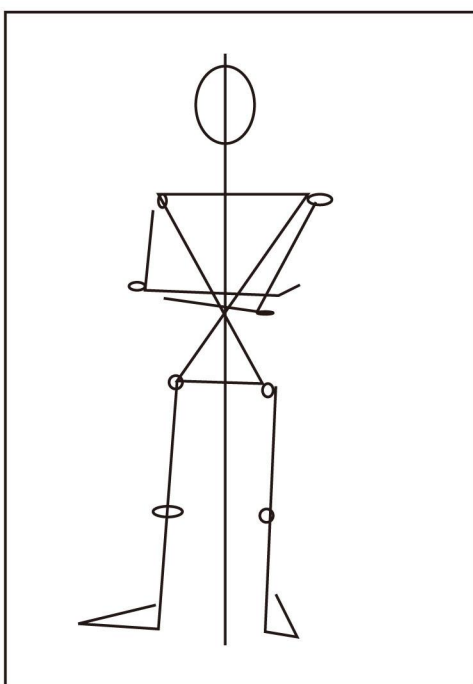
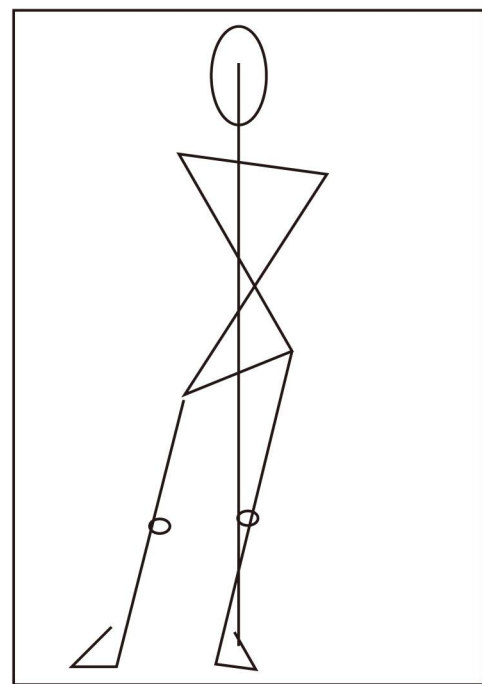
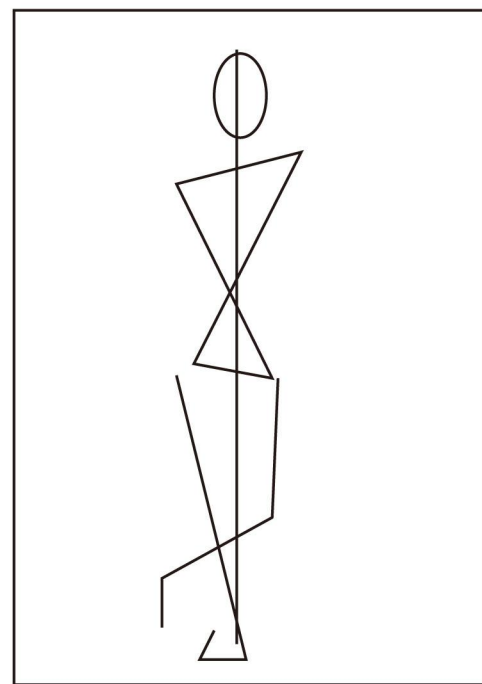
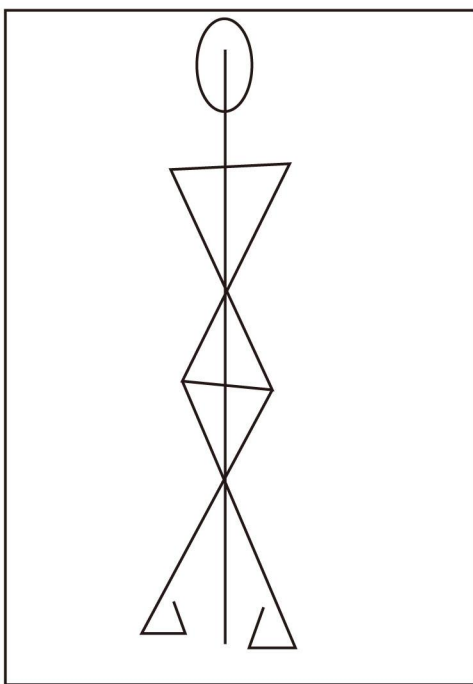
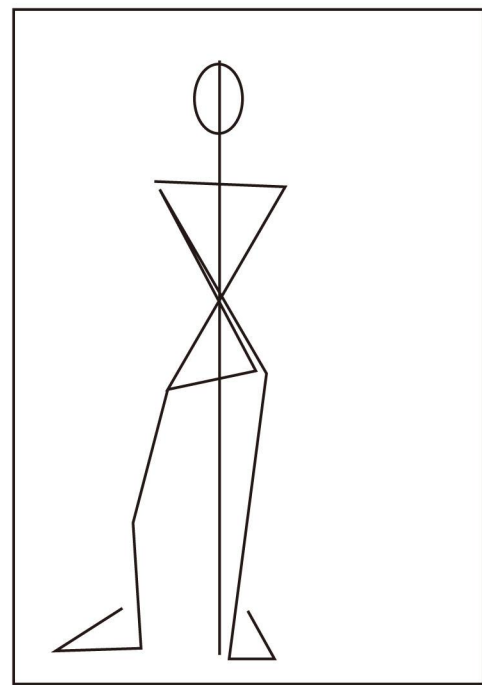
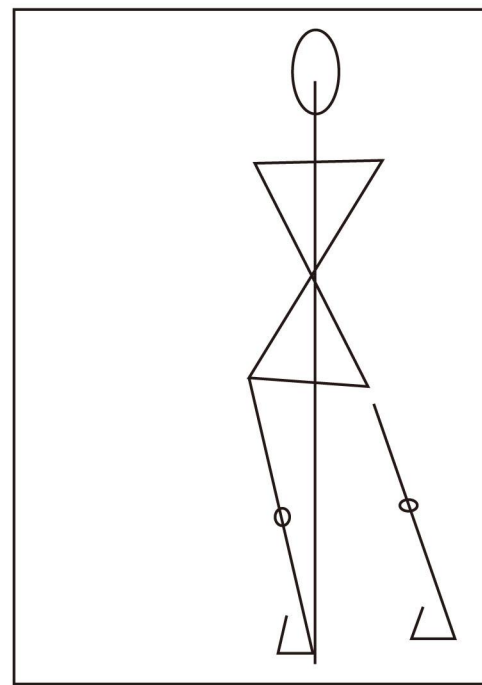
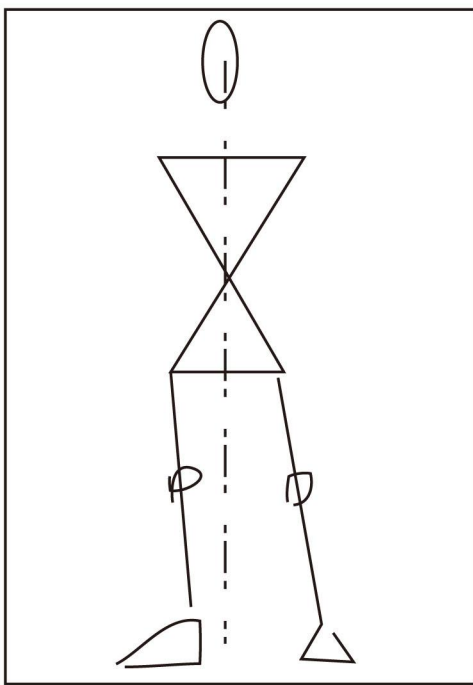
ここから斜めにくるぶしまで引く



大きさと重心の位置を確認

頭と両足の先を結ぶ三角形を薄く描く

- 1 頭のおおよその大きさの丸々を描く 頭から垂軸線を引く
- 2 まっすぐ下に線を引く
- 3 右足と左足がそれぞれその線よりどれだけの位置と方向に向いているかを印をつける。
- 4 腰骨がどの辺か大まかに描き体重がかかっている方の足の腰骨からかかとまでゆるやかな直線をひく
- 5 もう片方の足の骨を想像して足首まで線を引く
- 6 関節部分にできるしわなどをよく観察してしっかり書き込む



両方の足に体重がかかっている

右の足に体重がかかっている

左の足に体重がかかっている

ポーズの練習

年 組 番 氏名

--

--

--

--

--

--

--

--

--